

令和4年度  
「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」  
のまとめ



令和5年1月

# 目 次

## 令和4年度「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」

○ 「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項	1
○ 令和4年度「地区拡大家庭教育推進協議会」の概要	2
○ 令和4年度 優良家庭教育推進組織等一覧	3
○ 尾張地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	4
○ 海部地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	6
○ 知多地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	8
○ 西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	10
○ 東三河地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	12
○ 新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」の報告	14



## 「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」実施要項

### 1 趣 旨

家庭教育支援に関わる者及び行政関係者（以下「家庭教育関係者」という。）の市町村を超えた情報交換を通して、家庭教育関係者の資質向上を図るとともに、優れた活動を推進している組織等を顕彰することにより、地域におけるきめ細かな家庭教育支援活動を充実させる。

### 2 事業内容

#### (1) 地区家庭教育推進協議会の設置

##### ア 目的

家庭教育関係者による市町村を超えた情報交換や、地域におけるきめ細かな教育支援の方策について検討をすることで、地域での家庭教育支援活動の具体的な推進に資する。

##### イ 設置場所

尾張、海部、知多、西三河、東三河、新城設楽の6地区を所管する各教育事務所・支所に設置する。

##### ウ 所掌事項

生涯学習課の指導、助言のもと次の事項を行う。

(ア) 各市町村の家庭教育の現状及び支援活動に関わる情報交換や協議

(イ) 地域におけるきめ細かな家庭教育支援の具体的・実践的な方策の検討

##### エ 委員

市町村の家庭教育支援に関わる行政関係者、子育てネットワーカー等の子育て支援者、あるいは子育てサークル代表者を含む家庭教育関係者をもって構成する。

##### オ 内容

(ア) 年3回程度の協議会を開催する。

(イ) 上記の内1回は、委員のみならず地域の家庭教育関係者への参加を促した拡大地区家庭教育推進協議会とし、家庭教育に関わるテーマを基にしたグループワークによる情報交換を実施する。

※ 実施にあたっては、市町村や地域の家庭教育推進事業の実践の紹介を含めるなど、地域の特性や実情に応じて内容を工夫する。

##### カ 庶務

各教育事務所・支所において処理する。

#### (2) 優良家庭教育推進組織等の顕彰

##### ア 目的

地域においてきめ細かな家庭教育支援活動を継続して実施し、成果を上げている組織等を顕彰することで、家庭教育振興に関わる地域活動の一層の充実・拡大を図る。

##### イ その他

顕彰の詳細については、「優良家庭教育推進組織等顕彰事業実施要項」に基づく。

#### (3) 『「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」のまとめ』の作成

今後の活動の参考とするため、地区家庭教育推進協議会の協議内容や優良家庭教育推進組織等の顕彰の記録を集録し、事業のまとめとする。

### 附 則

この要項は、平成30年4月1日から適用する。

## 令和4年度 地区拡大家庭教育推進協議会の概要

地区	日時・会場	概 要	グループ協議テーマ	参加者数
尾張	9月16日(金) 13:30～15:55 三の丸庁舎	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 北名古屋市立天神中学校地域学校協働本部 実践活動発表 岩倉市 グループ協議、情報交換等 指導助言 閉会行事	①子育てネットワークの取組について ②青少年への支援について ③保護者への支援について ④家庭教育を行き届かせるための工夫について	55
海部	11月11日(金) 13:30～16:20 津島市生涯学習センター	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 神島田サポート(津島市) 実践活動発表 神島田サポート(津島市) 「子育てEXPO」(11の団体がブースで活動発表) 意見交換 指導助言 閉会行事	つながりあい まなびあい ささえあう 家庭教育支援 ～海部地区「子育てEXP O」でコラボレーション～	104
知多	11月16日(水) 10:00～12:10 美浜町総合公園体育館	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 子育て支援 ほっと・ミルク(美浜町) 南陵クラブ(常滑市) ミニ講演:日本福祉大学 教授 野尻 紀恵 氏 グループ協議 指導講評 閉会行事	家庭教育支援を必要としている人に支援を届けるには	46
西三河	9月9日(金) 14:15～16:30 西三河総合庁舎	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 特定非営利活動法人 ing(安城市) 知立南小学校区青少年健全育成協議会 実践活動発表 ・六ツ美南部学区家庭教育推進協議会(岡崎市) ・NPO法人高浜南部まちづくり協議会(高浜市) テーマ別協議会、情報交換 ・グループでの情報交換会 ・全体でのシェアリング 指導助言 閉会行事	①家庭教育支援者の人材確保・活用について ②支援を必要としている人の把握・活動の周知について ③支援を必要としている人への支援方法について	62
東三河	11月16日(水) 13:30～16:10 ライフポートとよはし	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 東陽ふれあい音楽会実行委員会(豊橋市) 講演 「家庭教育支援の在り方について」 豊橋市立八町小学校 校長 山本 武志 氏 グループ協議、情報交換 全体会 指導助言 閉会行事	家庭教育支援の在り方について	35
新城・設楽	11月10日(木) 13:30～16:10 新城設楽総合庁舎	開会行事、表彰 ＜優良家庭教育推進組織＞ 本年度はなし 実践活動発表 八名地区共育推進委員会(新城市) グループ協議・情報交換会 指導講評 閉会行事	これからの家庭教育で私たちができること ＝コロナ禍の経験をふまえて	20

合計 322名

## 令和4年度 優良家庭教育推進組織等一覧

地区	被表彰組織	実践活動テーマ	表彰日
尾張	北名古屋市立天神中学校地域学校協働本部	家庭・地域との連携・協働を進め、地域と共に子どもの生き抜く力、学力向上を目指す	9/16 (金)
海部	神島田サポート	地域みんなで学校を応援しよう ☆子ども達の笑顔からパワーをもらおう☆	11/11 (金)
知多	南陵クラブ	南陵中コミュニティ・スクール ～南陵中学生と地域のコラボ企画～	11/16 (水)
	子育て支援ほっと・ミルク	子育て家族の居場所づくり	
西三河	特定非営利活動法人ing	中心市街地に開いた小さな子育て親子支援 「みんなのセカンドハウス～ingハウスここから～」での実践	9/9 (金)
	知立南小学校区青少年健全育成協議会	学校や地域が楽しくなる実践活動のあり方	
東三河	東陽ふれあい音楽会実行委員会	「だれでも気軽に」「身近に生の本格的な音楽を」	11/16 (水)
新城設楽	本年度はなし	/	11/10 (木)

# 尾張地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日 時 令和4年9月16日（金）午後1時30分～午後3時55分
- 2 会 場 愛知県三の丸庁舎大会議室
- 3 参加者
  - ・協議会委員 17名
  - ・協議会委員以外の参加者 38名  
（市町家庭教育担当者18名、家庭教育推進関係者13名、尾張教育事務所職員7名） 合計55名

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時45分  
優良家庭教育推進組織等顕彰  
（北名古屋市立天神中学校地域学校協働本部）
- 2 岩倉市の家庭教育に関わる活動紹介【基調発表】  
午後1時45分～午後2時05分

### 岩倉市における子育て親育ち推進事業



岩倉市を代表して、「岩倉市子育て親育ち推進会議」の方に発表していただきました。市役所内の各課や市内の様々な関係機関が密に連携をとりながら、岩倉市全体で子育て支援に取り組む様子がしっかり伝わってきました。

参加者からも「参考にした」という声が多く聞かれました。



- 3 グループ協議・情報交換等 午後2時10分～午後3時40分  
4分科会6グループの意見（抜粋）（数）はグループ数





### 子育てネットワーカーの取組について①

- ・子育てをしている親の支援に力を入れている。
  - ・自分の市にはネットワーカーがないので、今後市と連携して取り組んでいきたい。
  - ・ネットワーカー登録後、訪問支援員をしている。
  - ・行政からの委託での活動をしている。
  - ・行政がしてくれたらありがたいと思うことを行動する。
- 親と子どもの居場所作りをすることが大切。

### 青少年への支援について①

- ・自分の市には子ども食堂が2か所あるが、広報・アピールができていないのが疑問である。
  - ・本当に困っている方が、なかなか参加しないというところがある。
  - ・学校・民生委員・行政の連携が大切。
  - ・ヤングケアラーであることを本人が自覚するために、子どもにヤングケアラーについて教える必要がある。
- 様々な事業についてのアピールや啓発が必要。

### 保護者への支援について②

- ・コロナ禍の中、オンラインで子育て支援を行っている。
  - ・コロナ禍の中、幼稚園・保育園に入る前の子どもをもつ保護者同士の交流の場がなくなっている。
  - ・発達障がいへの疑いがある子どもが増えているが、「グレー」と呼ばず、「パステル」と呼んで、前向きにとらえたい。
  - ・幼い頃の育ちが、後々まで影響する。
- 保護者は、やることはたくさんあるが、ほめられることはほとんどない。保護者を支援することは大切。

### 家庭教育支援を行き届かせるための工夫について②

- ・孤立を防ぐために、「ホームビジター」を派遣し、みんなで助け合っていく。
  - ・AIの出現により、コミュニケーションが少なくなっている。学校でしかコミュニケーションは育てられない。人を大事にし、人の気持ちができることが大切。
  - ・「自分のことしか考えない」ではなく、「遠くの親戚より近くの他人」という気持ちで、周囲で助け合う。
- 保護者や子どもたちが、悩みや相談を声に出すことができる雰囲気をつくるのが課題。

## 4 閉会行事

午後3時45分～午後3時55分

### Ⅲ 課題や今後の取組について

新型コロナウイルス感染症の関係で、一昨年度、昨年度が中止となったため、令和元年度以来の開催となった。グループ協議のテーマについては、令和2年度から引き継いでいたものがあつたが、本年度の第1回尾張地区家庭教育推進協議会の場で、拡大家庭教育推進協議会の提案をしたところ、「今日的なテーマでグループ協議を行いたい」という意見が出された。そこで、改めて協議会委員からグループで協議したいテーマを募り、その後、どのテーマの分科会に参加したいかの希望もとり、全員が第1希望の分科会に参加できるようにした。その結果、当日はどのグループでも活発な協議が行われていた。アンケートにも、ここ数年は新型コロナウイルスの関係で、なかなか他市町の情報を得る機会がなかったためか、今回の会で情報交換ができたことに満足する声が多く寄せられた。

ただ、久しぶりの開催となり、他の参加者に聞いてほしいが多かったためか、グループ協議の結果を発表する場面で、グループ協議の内容とは関係のない、普段力を入れて取り組んでいる活動についての話を熱心にされ、結果的に時間を大きくオーバーしてしまう方が数人いらっしゃった。アンケートにも、「制限時間を守って発言してほしい」、「夕方から仕事があるため、会が延長されるのは困る」といったご意見があつた。今後は、参加者の発言の機会を保障できるように、ときには発言の途中でも司会者が遮るなどして、特定の人が長く話すことを制限し、円滑な会の進行を心がけていきたい。

# 海部地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和4年11月11日（金）午後1時30分～午後4時20分
- 2 会場 津島市生涯学習センター
- 3 参加者 協議会委員（16名）  
協議会委員以外の参加者（44名）  
弥富市教育委員会教育長（1名）、海部地区小中学校長会長（1名）、  
海部地区PTA連絡協議会長（1名）、津島市PTA連合会長（1名）、  
県教育委員会関係者（5人）、  
市町村子育て福祉関係部課（4名）、市町村子育て支援団体（18名）、  
市町村PTA代表者（7名）、優良家庭教育推進組織（3名）、  
津島市教育委員会社会教育課（3名）

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時50分  
優良家庭教育推進組織等顕彰



【表彰を受ける神島田サポートの代表】

神島田サポートは、「幸せな虹色の中にいる子供たちのために何かしたい」という思いから、神島田小学校の教育活動にボランティアとしてサポートをはじめました。現在は現役・OG・シニアの3グループがあり、本の読み聞かせ・シャボン玉遊び・夏休みの宿題見守り隊・昔の遊びで遊ぼう会・親子除草・登下校の見守りなどを行っています。

- 2 事例発表 午後1時50分～午後2時5分



ネバ子  
供の  
活  
力  
に  
な  
る  
笑  
顔  
の  
メ  
ン  
バ  
ー



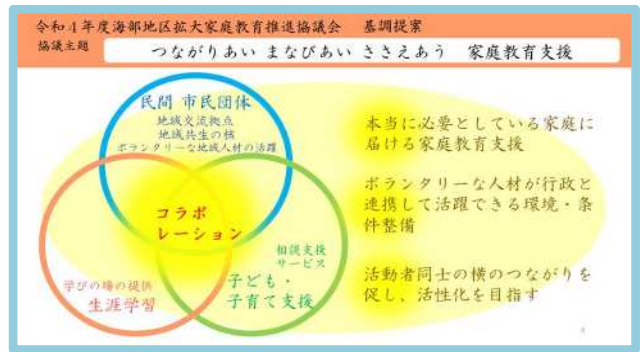
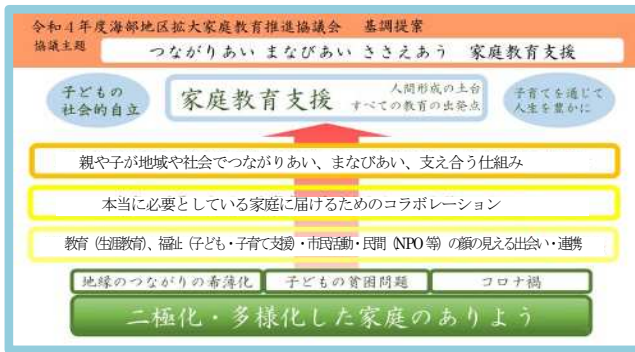
て読  
み  
聞  
か  
せ  
の  
実  
演  
を  
し  
て  
豊  
か  
な  
表  
現  
力  
で  
給  
本  
の

- 3 協議会 午後2時5分～午後4時5分

(1) 協議テーマについての基調提案

つながりあい まなびあい ささえあう 家庭教育支援  
～海部地区「子育てEXPO」でコラボレーション～





家庭教育支援を「本当に必要としている家庭に届けるためにも、家庭教育・社会教育・学校教育の教育、子ども・子育て支援に係る福祉、そして、市民活動団体に携わる者がコラボレーションを図ることにより、新しい価値や方策を創造することが必要であると考えています。

(2) 海部地区「子育てEXPO」前後半に分けて実施

	<p>たくさんの方の出会いと会話を生かす機会</p>		<p>展示あり、体験あり、工夫あり。展示で楽しんだ。</p>
	<p>ママを元気に！ママを幸せに！お話を</p>		<p>ネット上でも倒れました。熱意</p>

本協議会資料として「令和4年度海部地区家庭教育支援・子育て支援関係団体データベース」を作成したところ、55団体の掲載ができました。そのうちの11団体が、日ごろの活動を紹介するブース出展をしました。団体同士、団体と教育・福祉行政関係者が和気あいあいとした雰囲気の中、互いのコラボレーションを目指した「顔のつながる」情報交換や意見交換を行いました。

(3) 意見交換

- 4 指導助言 午後4時5分～午後4時15分  
愛知県教育委員会生涯学習課主査より、本会への高評と「愛知県家庭教育支援チーム」への登録について説明がありました。
- 5 閉会行事 午後4時15分～午後4時20分

Ⅲ 課題や今後の取組について

団体の活動について、より広く啓発したり、交流したりすべきだとの声がありました。「子育てEXPO」の実践を継続・拡充することを協議会にて検討します。

# 知多地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和4年11月16日（水）午前10時00分～午後0時10分
- 2 会場 美浜町総合公園体育館 サブアリーナ
- 3 参加者
  - ・協議会委員 28名
  - ・協議会委員以外の参加者 18名（行政関係者6名、子育て支援団体7名、子育てネットワーカー5名）

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午前10時00分～午前10時20分  
優良家庭教育推進組織等顕彰

### ◇ 子育て支援 ほっと・ミルク（美浜町）

子育てネットワーカー16名が、子どもの健やかな成長と子育て中の親の支援を目的として活動している。開設して19年の「おしゃべり広場」は、気軽に立ち寄っておもちゃで遊びながらおしゃべりを楽しめる機会として人気があり、地域の交流の場となっている。



### ◇ 南陵クラブ（常滑市）

南陵中学校の1年生が「南陵学習」で考えた地域活性化策を提言し、地域の方や民間企業と一体となって実現に取り組んだ。地域のかっこいい大人の姿に触発され、自ら考えて実践し地域貢献できたことが大きな自信となっている。地域が一体となって子どもたちの成長を育てている。

- 2 ミニ講演 午前10時20分～午前11時00分

「子どもを真ん中に」日本福祉大学 教授 野尻 紀恵 氏



### ＜参加者の声（アンケートより抜粋）＞

- ・子どもと向き合うことは家庭と向き合うことであり、それを地域で取り組むことの大切さを実感した。
- ・事例で、学校、SSW、民生委員、社会福祉士、医療ソーシャルワーカーなど、さまざまな方が関わり、支援していることを知った。寄り添える人でありたいと思った。



### 3 グループ協議 午前11時10分～午前11時50分

「家庭教育支援を必要としている人に支援を届けるには」  
＜協議後のグループ発表より＞

- ・支援を必要としている方には、ファミリーサポートを勧めている。声を出せる家庭はいいが、SOSを出せない家庭に対する支援が難しい。地域でお節介できる人や見守る人を増やしていき、みんなで支える体制が必要。
- ・子育てネットワーカーとして、行政と家庭をつなげていく役割があると感じている。
- ・就学前の子どもは、健診の時に親と顔つなぎができるが、小学校に入学するとそういう機会がなくなり、つながりが薄れてしまう、というネットワーカーの意見があった。それに対し、教務主任や校務主任など、担任がない先生は広く子どもたちを見ているため、つながると情報共有できると、学校で勤務経験のある行政関係者より助言があった。
- ・市町の取組として、ファミリーサポート、家庭教育支援チームの相談や講座、家庭教育支援関係者が情報共有する「つながるサロン」、子ども食堂、読み聞かせ、定期健診での補助・支援等がある。オンラインやSNSを活用し、市町を超えて活動する団体もある。
- ・課題としては、縦割りの行政が挙げられる。活動内容や対象児の年齢、家庭の状況によって担当課が違ふ。横のつながりを持ち、連携して活動できるといい。
- ・できる人ができる時にできることをやる。多様な手立てがあれば、支援が必要な家庭も、何かに関わる可能性が高くなる。

＜参加者の声（アンケートより抜粋）＞

- ・実際に中心となって活動されている方ばかりの話し合いだったので、とても盛り上がり、時間が足りないくらいだった。
- ・他の地域の方たちの話はとても勉強になった。縦、横の隔たりのないつながりが大事だと思った。



- ・地域の子どもたちのために、子育てに悩んでいる親のために、わたしたちができることはまだまだたくさんあると感じた。行政との連携が不可欠。
- ・野尻先生の話がとてもすばらしく、そのことを踏まえての協議会がとても充実したものになった。他市町の方とじっくり話すことができ、有益だった。

### 4 指導講評 午前11時50分～午後0時00分

### 5 開会行事 午後0時00分～午後0時10分

## Ⅲ 成果と課題

今年度は運営委員が希望していたグループ協議を行った。協議のテーマに沿ったミニ講演を行い、協議が活発に行えるようにした。アンケートからも、グループ協議がとても参考になったとの声が多く、もっと人数を増やしたいという意見もあった。来年度の課題とし、子育て支援活動をされている方々がさらにつながることができる会にしていきたい。

# 西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和4年9月9日（金）午後2時15分～午後4時30分
- 2 会場 西三河総合庁舎10F大会議室
- 3 参加者
  - ・協議会委員 21名
  - ・協議会以外の参加者 41名（子育てネットワーカー10名、家庭教育・子育て支援者9名、行政関係者5名、学校関係者2名、PTA等保護者15名） 合計62名

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時15分～午後2時30分  
優良家庭教育推進組織等顕彰



【顕彰式】

### 特定非営利活動法人 ing（安城市）

生涯学習講座の企画運営や各種ボランティアの養成・活動支援等を通して、生きがいづくりやまちづくりに取り組んでいる。

### 知立南小学校区青少年健全育成協議会（知立市）

「学校と家庭・地域がともに、子どもたちを育てていく」、「子どもの教育をどのようなまちづくりにつなげていくのか」という視点で協議を行い、地区での実践活動を促している。

- 2 実践活動発表 午後2時30分～午後3時

### 六ツ美南部学区家庭教育推進協議会

#### （岡崎市）

コロナ禍により多くの学校行事や地域行事が中止や縮小となる中、分散型運動会における「聖火台づくりとバルーンリリース」「こども110番の家ウォーキング」など、工夫して活動を行った。

### NPO法人高浜南部まちづくり協議会

#### （高浜市）

事業活動項目を多くすることにより地域の人々の参加機会が増え、世代間交流も顕著になってきた。活動を横断的にすることで、新しい事業もできてきた。自主財源確保事業（コミュニティビジネス等）を開始した。



【実践活動発表】

### 3 テーマ別協議会 午後3時～午後4時25分

<p>テーマ① ～人材確保・人材活用の問題を中心に～ 「家庭教育支援をしていただく方をどのように確保し、どのように活用していくか。」</p> <p>A班：地域コーディネーター等、聞き手役が中心になってつなげる。1回のかかわりから人材バンクを作る。気軽に集まれる場所を作ることが重要。</p> <p>B班：人材確保に、企業の協力を求めているかどうか。報酬が必要となる。学校や企業を通じ、活動を広める。知らなければ活用されない。</p> <p>C班：一部の団体で抱え込まない。様々な人がかかわることで人が見つかる。枠を広げる。魅力ある企画も大切。やれることからやってもらう。</p>
<p>テーマ② ～把握・周知の問題を中心に～ 「家庭教育支援を必要としている方をどのように把握するのか。また、地域活動をどのように知らせるのか。」</p> <p>D班：行政の協力がないと、未就学児を把握することが難しい。赤ちゃん訪問を通じ、個人情報に触らない程度に支援活動を知らせている。</p> <p>E班：自治体に入らない人が増えている。家庭教育支援が必要な家庭は、なかなか自ら申し出ることが難しい。ご近所さんや学校、園からの情報を集める。</p> <p>F班：子ども食堂の活動について、学校でプリントを配ったがなかなか来てくれない。いろいろな団体と協力が必要。家庭支援を主とする行政団体が必要。</p> <p>G班：子どもの姿から学校では把握できる。学校で得た情報を誰にどう伝えるかが難しい。公共と民間がうまく連携できる仕組みが必要。</p>
<p>テーマ③ ～事業・イベントの問題を中心に～ 「家庭教育支援を必要としている方に、どのような支援をしたらよいか。」</p> <p>H班：どんな支援を必要としているのかによって、支援の方法は異なる。発表のあった高浜まち協の活動がすばらしいので参考にしたい。</p> <p>I班：学校行事と紐づけたり、食や住をイベントにししたりして、「得だな」と思える事業をきっかけにする。子ども、行政の力、安全関係がキーワード。</p> <p>J班：イベントに参加できない家庭の方が、支援が必要なのは。地域の方や民生委員がいかに入り込めるかが問題。支援をしていくには財源が必要。</p> <p>K班：小規模校では、親子で参加できる月1回のイベントで孤立化を防いでいる。行政からの繰り返しの発信、様々なイベントで参加者が増えている。</p>

### 4 閉会行事 午後4時25分～午後4時30分

#### Ⅲ 課題や今後の取組について

拡大家推協に参加を呼びかける際には、予めテーマを示し、興味のあるテーマのグループ協議に参加をしていただいた。結論を出すことが難しいテーマであったが、どのグループも活発に意見交換ができていた。

多くのグループが、様々な支援団体が結びついていくこと、官民の枠を取り払って協力をしていくことの必要性と可能性について触れていた。話し合われた内容が、多くの方に届けられ、実現に近づくようなしくみがあるとよい。



【テーマ別協議会】



# 東三河地区 家庭教育を考える会 「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和4年11月16日(水)午後1時30分から午後4時10分
- 2 会場 ライフポートとよはし(中ホール)
- 3 参加者 ・35人  
・協議会委員 14人  
・協議会委員以外の参加者21人(教育行政関係者13人、子育てボランティア2人、保育士1人、小中学校PTA5人)

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分から午後1時40分まで  
優良家庭教育推進組織等顕彰  
東陽ふれあい音楽会実行委員会(豊橋市)



東陽ふれあい音楽会実行委員会は、「だれでも気軽に」「身近に生の本格的な音楽を」を趣旨に音楽会を開催しています。毎年多くの方が音楽会に参加し、音楽を通じた地域のつながりや親子での交流を深めています。

今後も音楽会を通して、地域ぐるみで次代を担う子どもたちを育てていく活動を行っていただきたいです。

- 2 講演 午後1時45分から午後2時05分まで  
「家庭教育支援の在り方について」

豊橋市立八町小学校長 山本 武志 様



子育て家庭の見えない、見えにくい社会的孤立が家庭教育支援の課題となっている。家庭教育等の問題は、DV、ネグレクト、過干渉、過保護があげられる。これらは外から分かりづらい、見えにくい問題である。

家庭の形も社会の変化と共に多様化している。本当に支援が必要な家庭をいかに支援するのか、地域コミュニティを基盤に考え対応していくことが大切である。

### 3 「グループ協議・全体会」 ＜テーマ＞

午後 2 時 10 分から午後 4 時 05 分まで

## 家庭教育支援の在り方について



グループ協議

事前に家庭教育支援についての質問・疑問を集約してグループ分けを行い、6グループに分かれグループ協議を行いました。



#### Aグループ

よりよい家庭教育支援ができるよう互いに情報共有することが大切である。今後も子どものために努力していく。

#### Bグループ

少子化、多様化が進む今後は、親も子どものように地域とつながっていくか考えていかなければならない。

#### Cグループ

様々な問題をかかえている家庭がある。声をかけ、時間をかけ人間関係、信頼関係を築くことが大切である。

#### Dグループ

不登校傾向の子どもに寄り添う姿勢で対応することが大切である。組織で対応していくことが重要である。

#### Eグループ

問題が複雑化しているため解決には時間がかかる。気軽に話せる場、相談できる場が地域にあるといい。

#### Fグループ

近年、人間関係が希薄になってきている。だからこそ、子ども、保護者、家庭の支援の重要性が増している。



全体会ではグループごとに協議された内容を共有しました。

#### 【参加者の声】

- ・いろいろな地域の方から問題点や課題を聞くことができました。とても有意義な時間が過ごせました。
- ・自分の子育ての不安に対して「大丈夫だよ。」と言ってもらってありがとうございました。とても充実した会でした。

### 4 閉会行事 午後 4 時 05 分から午後 4 時 10 分まで

## Ⅲ 今後の取組について

今年度も、参加者から事前アンケートで家庭教育支援についての疑問・質問を提出していただき、グループ分けを行った。運営委員からは「事前アンケートのおかげで、参加者の意識が高く、中身の濃い話し合いができた」との声が多かった。またグループ協議の様子から話し合いが深まった印象を受けた。

参加型のグループ協議を行うことで、参加者が主体的に話し合い、課題を自分ごととして捉えることができていた。来年度もグループ協議を行いたい。

# 新城設楽地区「拡大家庭教育推進協議会」 地域で子どもを育むための交流会

## I 概要

- 1 日時 令和4年11月10日（木）午後1時30分～午後4時10分
- 2 会場 新城設楽総合庁舎
- 3 参加者 協議会委員 10名  
協議会以外の参加者10名（家庭教育・子育て支援者4名、  
行政関係者1名、学校関係者3名、社会教育委員2名） 合計20名

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時30分～午後1時45分  
主催者挨拶



東三河教育事務所新城設楽支所長からの挨拶の中で、今回の発表が令和2年度に書面発表になってしまったこと、今年度、改めて緊急事態宣言解除後の活動を付け足して発表していただくことを話していただきました。

家庭教育推進協議会長からは、新城市の「共育」についての考え方、理念を話していただきました。

- 2 実践活動発表 午後1時50分～午後2時15分



「八名の共育」と題し、八名共育コーディネーターの滝川多嘉子さんに八名地区の取組について、話していただきました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する前の取組、コロナ禍における取組に分け、社会情勢が大きく変容する中でも、子どもたちを地域で育てていこうと試行錯誤しながら実践してきたことを発表していただきました。多くの写真とともに活動を紹介してください、活動の内容がとてもよく分かりました。

参加者からは、多くの質問や感想が寄せられ、発表に対して関心をもって聞いていただけたことが分かりました。滝川さんには、一つ一つの質問に丁寧に答えていただきました。





### 3 グループ協議、情報交換会 午後2時35分～午後3時50分

<テーマ>

これからの家庭教育で私たちができること＝コロナ禍の経験をふまえて

＝グループワークで出た意見＝

#### グループ①【家庭教育関係者】

コロナ禍になり、コミュニケーション不足が心配である。コロナ禍でも行事などを中止するのではなく、工夫して続けることや親が意識してコミュニケーションをとることが大事である。そのときに、否定をしない言葉かけをしていきたい。

#### グループ②【家庭教育関係者】

コロナ禍のタブレットによるリモート授業などで、人と会うのが怖い子、一人で家で過ごす子が増えた。親が集まるふれあいの場を設定し、自由に子どもについて話したり、子供が自然と触れ合う場を設定したりしたい。

#### グループ③【社会教育委員】

コロナ禍で体力が衰える子、精神的不安な子が増えた。コミュニケーションの大切さ、必要性を感じる。発表を聞いて、コーディネーターの有効性を感じた。情報共有をしながら、自分ができるところを具体的な活動にしていきたい。



【グループワークの様子】

#### グループ④【教育委員会担当者】

コミュニケーションが取れる機会づくりが必要。家族で参加するイベント、家族の会話を生み出すきっかけづくり、自宅でも活動できることを考えていきたい。新城市と北設楽郡の自治体が連携した講座も考えていきたい。



【グループワークの報告】

#### グループ⑤【学校関係者】

一度行事を中止すると、なかなか人が集まらなくなる。「できない」から「どうしたらできるのか」という視点で考えたい。学校と地域とのつながりが戻るように「こんなことやってみたい」「こんなことができる」と、コロナ禍の中でできることを考えたい。

4 指導講評 午後3時50分～午後4時10分

5 閉会行事 午後4時10分

### Ⅲ 課題や今後の取組について

「どの時代も子どもを育てる、子どもが育つことを考えると、地域が拠点となり親も子も触れ合う場が必要だと感じた」「コロナの制約、制限がある中で、いかに子育て、地域づくりをしていくかが参考になった」という感想から、コロナ禍という厳しい状況だからこそ、それぞれの立場で、知恵を出し合って子どもを育てていこうとする気持ちが強まったことが分かる。保護者の参加が少なかったため、より多くの保護者に参加してもらえるように呼びかけ、地域、保護者、学校が家庭教育について情報共有し、一丸となって取り組めるようにしていきたい。



令和4年度

「地域に根ざした家庭教育支援推進事業」のまとめ

令和5年1月発行

愛知県教育委員会生涯学習課

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6780 (ダイヤルイン)

ファックス 052-954-6962